

# 学外で行うPBLの好事例を知ろう

～学生・院生が中高生のプロジェクトをサポートするタイプのPBL～

## 日時

2025年1月14日 (火)

18:00～19:30 対面とオンラインのハイブリッド開催 / 参加費 無料

19:30～20:30 パーティ・タイム / 参加費 2000円 (学生は無料)

## 場所

[UECアライアンスセンター1階 100周年記念ホール](#)とオンライン(Zoom)

## 内容

- 大学の授業でPBLが活発になっています。一方、学生の活動範囲は大学の内外でシームレスに広がっています。今回は、学生が大学外で行うPBL活動を紹介します。
- 事例として取り上げるのは、民間会社の加速キッチン合同会社が主催して、学部生・院生に中高生のPBL活動をメンターとして支援させる取り組みです。具体的には、宇宙や素粒子に関心を持つ全国の中高生に「素粒子検出器」を配布し、中高生が考えた様々なプロジェクトをともに実現しようとする画期的な取り組みです。
- 紹介するのは、[欧州原子核研究機構 \(CERN\)](#) が主催する「高校生ビーム実験コンテスト Beamline for Schools」に、同社がサポートする女子高校生チームSakura Particlesの提案が78か国461件の中から採択。2024年9月にチームとメンター学生がCERNの本拠地スイス・ジュネーブに出向き、2週間に渡って提案実験を行って帰国しました。

## プログラム

18:00～18:05 **【開会あいさつ】**

スーパー連携大学コンソーシアム会長 長野大学長 小林 淳一

18:05～18:35 **【事例紹介】**

<内容> 加速キッチン合同会社の活動趣旨と経緯 / 中高生への呼びかけ方 / 女子高校生チームSakura Particles 学生スタッフ (メンター) のインパクト / 資金調達法と資金繰り

田中 香津生 早稲田大学理工学術院総合研究所 研究院准教授 / 加速キッチン合同会社代表

河野 理夏子 The Australian National University M2 / 学生スタッフ (メンター)

18:35～19:25 **【パネルディスカッション】**

モデレータ: 櫻井 政考 電気通信大学産学連携センター客員教授

パネラー: 田中 香津生 早稲田大学理工学術院総合研究所 研究院准教授 / 加速キッチン合同会社代表

河野 理夏子 The Australian National University M2 / 学生スタッフ (メンター)

妹背 正雄 一般財団法人 三菱みらい育成財団 常務理事

森田 桂花 電気通信大学アドミッションセンター 特任准教授

19:25～19:30 **【閉会あいさつ】**

電気通信大学長 田野 俊一

19:30～20:30 **【パーティ・タイム】** 軽食付き交流会: 参加費 2000円 (学生は無料)

お申込みは >>> <https://x.gd/4fq1b> 又は右のQRコードから



<主催> 一般社団法人 スーパー連携大学コンソーシアム

<お問合せ> TEL: 042-443-5939 mail: jim@super-daigaku.com